

浜名湖の水質環境把握のための水質観測計画

1 設置の目的

浜名湖の各地において水温や塩分などの水質を観測し、浜名湖の環境を調査する。

2 設置場所

①浜松市中央区雄踏町山崎地先(図 1-1①、1-2①)

②浜松市中央区白洲町地先(図 1-1②、1-2②)

③湖西市鷺津地先(図 1-1③、1-2③)

④浜松市浜名区細江町気賀地先(図 1-1④、1-2④)

3 設置物(図 2 参照)

湖底に鉄管パイプまたはタフポール(強化プラスチックパイプ)2本を設置し、1本に水質観測装置を、残り1本に警告灯を固定する。また、2本のパイプの間にブイをロープで繋ぎ置き、ブイから垂下したロープにセンサー付きのケーブルを固定する。

4 設置期間

届出日から令和8年3月31日まで

5 設置方法など

浜名湖分場職員及び水質観測装置メーカー職員が船上(船名：はまな)から設置する。

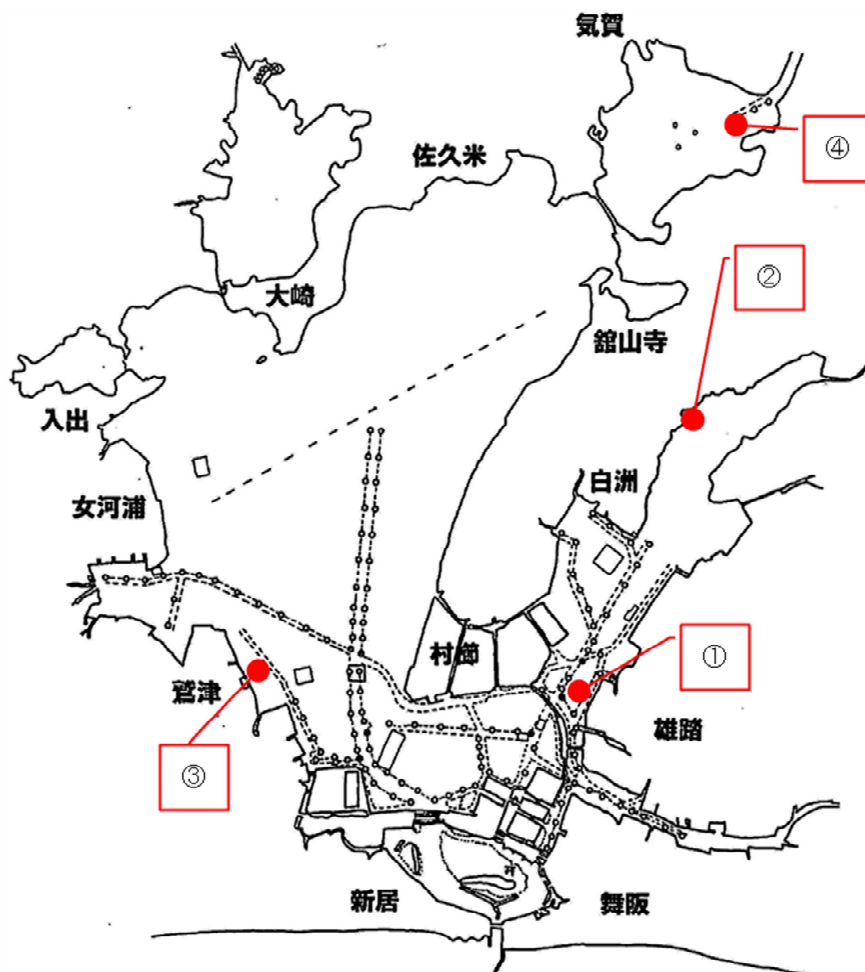


図 1-1 水質観測装置の設置位置

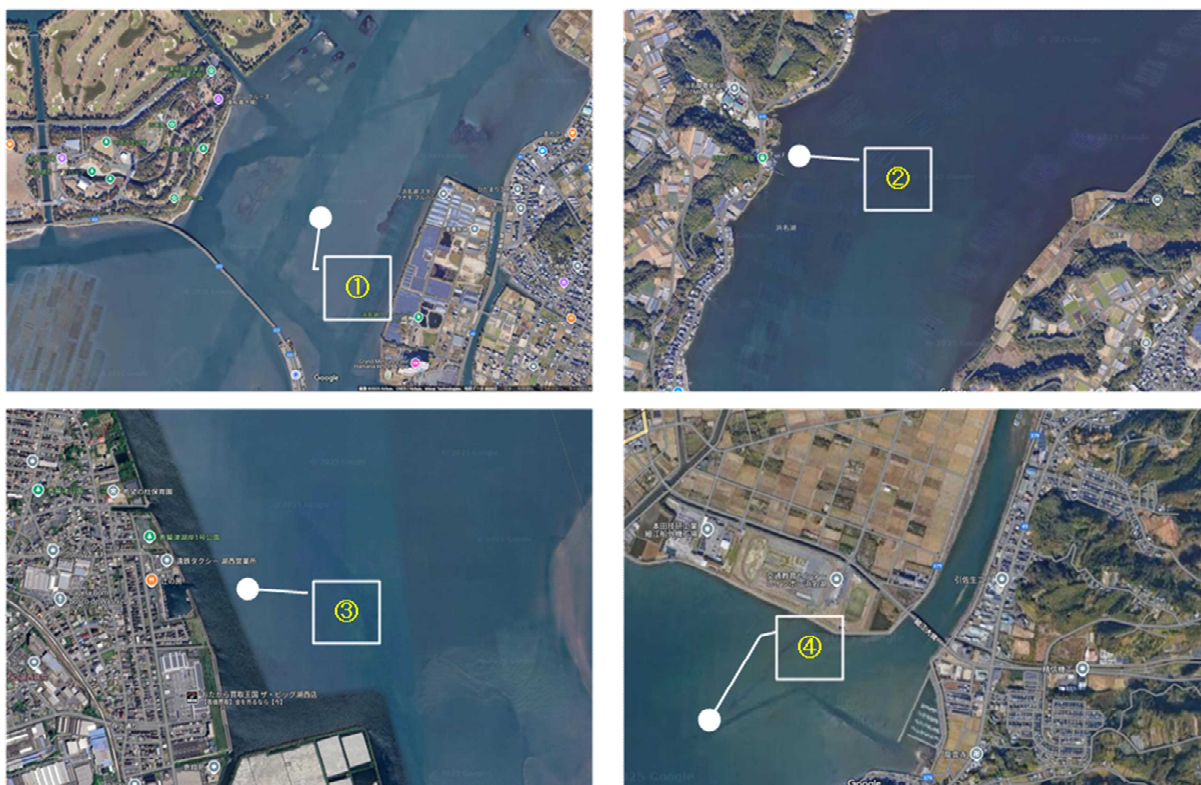


図 1-2 水質観測装置の設置位置 (拡大図)

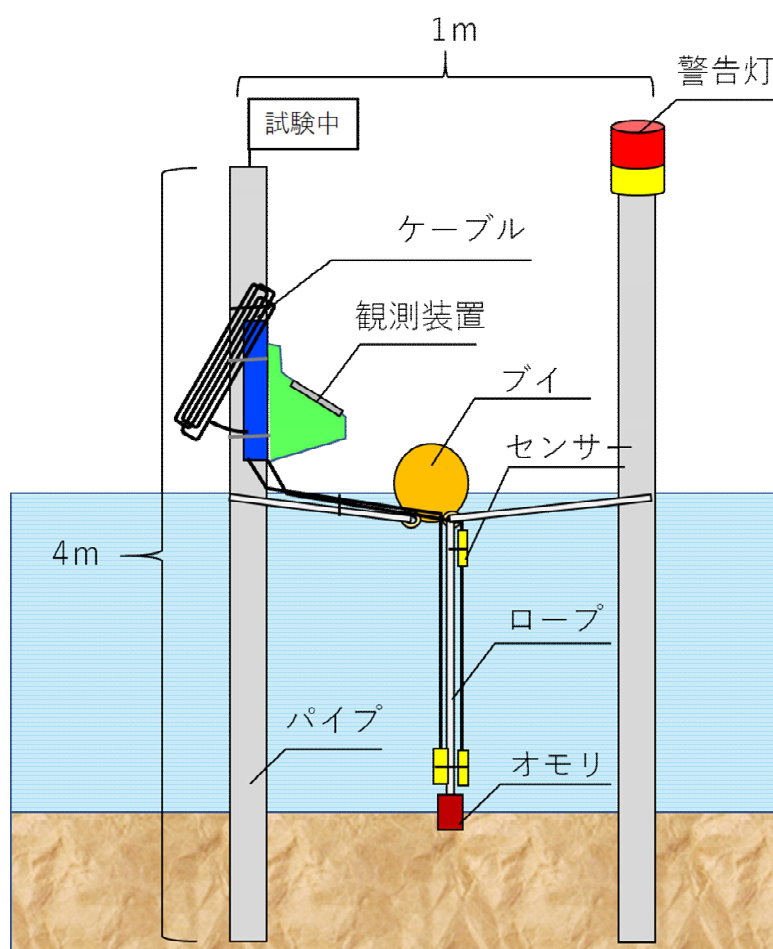


図 2 水質観測装置の設置イメージ